

# 街頭で、地域で、職場や自宅で署名順調

## 受任者登録1100名突破 全市で一斉に街頭署名、個別署名

明石駅前の再開発は市民みんなの投票で賛否を決めよう—と呼びかける住民投票の直接請求署名が8月25日にスタートしてから1週間を超えました。再開発地区を真正面に見すえる明石駅前広場では、連日のように街頭署名所が開設され、たくさんの市民が訪れ次々に署名し、「自宅や地域でも署名を集める」と新たな「受任者」になり署名簿を持ち帰る人も多かった。

署名収集に協力する「受任者」の登録数は、署名開始2週間目に入った9月2日ついに1000名を突破し、4日には1100名を超えました。

受任者は署名期間が終了する24日まで新たに委任できます。署名簿を持ち帰り、ご家族や周辺の方がたの署名を集めてください。

住民投票の会は今後、受任者による個別署名を続ける一方、地域の受任者、サポーター、協力者等の応援も得て、地区ごとの個別訪問のテコ入れを強化していきます。

## 署名簿の逐次回収のお願い

署名簿は署名期間終了後、速やかに整理・集計して28日(金)には明石市の選挙管理委員会に提出します。このため、それまでに膨大な署名簿の整理と集計が必要です。また、署名の集まり具合にも関心が集まっていることから、逐次集計していく必要があります。

受任者の皆さんのお手元の署名が満杯になった分から順次、事務局へ回収をお願いします。第一次集計締め切りは署名期間の中間点に当たる8日(土)です。これまでに署名終了分の署名簿の回収をお願いします。

回収は銀座通りの駅前事務所への持参、郵送(折りたたんでも結構です)、街頭署名所への持参、常設署名所への持参、その他回収方法については事務局へお電話でご相談ください。☎911-5015。

## 市が既成事実積み重ねへ再開発組合設立認可の申請手続き

再開発計画を住民投票にかける直接請求署名のスタートに合わせるように、明石市は再開発組合の設立認可手続きを始めました。8月6日に準備組合の臨時総会を開き、組合設立の認可を申請することを決定。保留床を買い取る明石市と野村不動産(34階建て超高層マンションの開発・分譲事業者)が参加組合員になることも承認しました。これで明石市は正式に事業主体の構成員になります。

また、8月28日から事業計画の縦覧を始めています。縦覧は10日まで。意見書の提出期限は何故か、署名終了日と同じ24日です。事業計画書の閲覧は市役所7階、都市整備部です。意見書の提出は権利者と参加組合員に限定しているのは納得できないところです。

### 今週の移動署名所

時間はいずれも16時～18時

- 3日(月) JR魚住駅北側コープ前
  - 4日(火) 大久保駅北側
  - 5日(水) 西明石駅南マックスバリュ前付近
  - 6日(木) 西明石駅在来線口北側
  - 7日(金) 山電東二見駅南北広場付近
  - 8日(土) 11:00～18:00 明石駅
  - 9日(日) 11:00～18:00 明石駅
- ※このほか、平日は原則として明石駅でも16:00～18:30開設  
 ※上記のほか、連携する団体やグループが各駅前等で随時、臨時署名所を開設し呼びかけます。

# 続々届く「市民の声」

直接請求署名を開始以来、住民投票の会には手紙やはがき、メールで続々と市民の声が届いています。幾つかをご紹介します。

<http://www.facebook.com/sukidayo.akashi> には全文アップしています。

## 住民投票＝民主主義の原点に立ち返る

明石駅前再開発には、賛否それぞれの立場、考え方があっていいと考えます。私たち『再開発・住民投票の会』は住民投票で市民の意思を確認するという一点に絞って活動したいと考えています。

明石の駅前の景観をだいなしにする34階建ての超高層マンションの建設や民間再開発事業といいながら総事業費の85%、220億円もの税金(明石市は98億円負担)を投入することは、明石にとって、また明石市住民にとって、将来、決定的に重大な事柄であります。

だからこそ『民主主義の原点に立ち返り、主権者である住民の意思を確認すべく、住民投票を行う必要』があるのです。

(山根金造、住民投票の会世話人の一人 8/31)

## 駅前に高層ビルは不要、海辺に水族館を

明石を愛する一市民として、明石駅前再開発についてご意見を申し上げます。

(1) 超高層ビルの建設による再開発には絶対反対。理由は、アスピアの失敗、380億円の巨費を投じ、経営破綻。空き室、空きスペースが多い。

(2) それ以上の市税を投じ、より高層のコンクリートの建造物を造るのは、以前の失敗に学ばないのか、市民には理解できない。

(3) 債券を発行する等、全く市税に頼らずに、建築できたとしても、駅の真ん前に高層ビルを造ることは、以下の理由のため反対である。

☆駅の直ぐ前に、出来ることから明石の商店街への人の流れを奪ってしまう。現在も、駅前商店街の人の通りが少ないのは、駅から南、海に向かって歩く目的、魅力あるものが、何も無い。(フェリーもなくなり、砂利置き場のみ) 人の流れは、魅力ある目的が必要です。

☆提案です。40年以上前には、中崎海岸に水族館がありました。小規模なものでしたが、結構親子連れでにぎわっていました。タコつり等もできたのです。また、白砂とまではいかないが、松林や砂浜がありました。ぜひ市税を投じて、市民のため、観光客のために「水族館」を造って下さい。現在全国に70くらい水族館があり、それぞれ特徴があるよう

うですが、明石は海の町、海しかなく「たこ」で有名ですから、水族館はぜひこの生態を展示してほしい。何処にもない研究をすることで、意義を持つことも可能と考えます。

☆最後に、砂利置き場は、今度こそ絶対に撤去して頂きたい。何代も以前から市長が公約をなし得ない。ぜひ、力量ある市長、ぜひ実現して下さい。明石のメインストリートをどんなに美しくしようとも、砂利を積んだダンプが、水をまきながら横行することなど許せない。これでは街の繁栄はあり得ない。

海に東西に長く面する明石の最大の財産は、この自然を生かしてこそ、明石の街が甦る。海のない街の真似をするのは愚かである。海に面し、こんなにおだやかな地形を誇りとし、恵まれた自然を最大に生かしてこそ、明石は甦る。魅力ある施設と、おいしい魚を食べさせる処が在れば、当然人の道ができるはず。明石に生まれ、育ち、生きている明石大好き人間です。ビルは要らない!

☆追伸 明石には掘り起こせば、たくさんの歴史的観光資源がある。源氏物語、平家物語、方丈記など、ゆかりの地も、今ならまだ残せる。

(太寺在住の女性 8/28)

## 超高層は明石に似合わない

「まちづくり」というのは、時間をかけて行うもの。しかし、都市再開発事業は短期採算型の事業です。明石駅前の超高層住宅にどれ程のニーズがあるのでしょうか? どういう居住層を想定されたのでしょうか? 駅前より山の手の地区からの瀬戸内海への眺望をどのように考えているのでしょうか?

積み上げて、土地の負担を減じても超高層となると建築工事費とのバランスを考えれば、高くしても住宅コストの低減にはならない。高層化によるメリットは、いたずらに”高いとこ好き”の人の嗜好を満たす条件の一つに過ぎないのでは?(中略)しかし、いまや大阪市内、とくに大阪駅周辺のプロジェクは超高層化されていて、完成前にすでに完売という噂が出ています。その周辺に住む人に、通りがかりにちょっときいてみたら、地権者のお一人が「わたしは購入しましたよ。何でも不動産業者がたくさん押さえているとかいうてはりますよ」ということです。個人より法人所有者の割合が結構あるような話でした。(大阪在住の女性、建築家8/30)